|  |  |
| --- | --- |
| 解答例 | 解説 |
| １ | 思考アイコン思考アイコン | ⑴　石高は大きいが江戸から遠く離れた場所に配置された。（25字）⑵　武家諸法度⑶　徳川家光 | １ | ⑴　石高が特に大きいのは仙台の伊達家56万石，金沢の前田家103万石，熊本の細川家54万石，鹿児島の島津家73万石で，この４家はいずれも関ヶ原の戦い前後に徳川家に従った外様大名である。また，この４家と江戸の間には，有力な・大名が配置されていることも読み取れる。特に，関東・東海・近畿の重要な場所には，徳川家と関係の深い大名が配置された。⑵　資料は1615年４月に大阪夏ので豊臣家がほろびた直後の，同年７月に出された武家諸法度の一部である。また，同年９月には，天皇・公家の行動を制限し，朝廷が政治に関与することを禁じた17か条からなる，禁中並公家諸法度も出されている。⑶　条文は，1635年に３代将軍徳川家光が武家諸法度に加えた，参勤交代を制度化したものである。参勤交代は大名の犯行を防ぎ，経済力を弱めるための制度で，大名の妻子は人質として江戸でくらすこと，大名は１年ごとに領地と江戸にで住むこと，などを義務づけた。これにより，大名，特にに配置された大名は，江戸での生活，大名行列などに多大な費用がかかることになった。 |
| ２ | 思考アイコン | ⑴　ウ→イ→エ→ア⑵　①　豊臣秀吉　　②　対馬藩 | ２ | ⑴　江戸幕府3代将軍の徳川家光は，領主への忠義よりも神への信仰を重んじるキリスト教の広まりをれ，日本人のを全面的に禁止するとともに，海外居住者の帰国も禁止した。これにより，貿易が絶えることとなった（ウ，1635年）。キリスト教徒への迫害が進むと，思い年貢の取り立てに対する反発も加わり，島原と天草で天草四郎を大将とするがおこった。一揆勢は原城に立てこもって幕府軍と戦ったが，半年後にほろぼされた（イ，1637年）。日本人に対するこれらの規制と同時に，外国人に対して幕府は，ポルトガル船の来航を禁止した（エ，1639年）。そして，平戸に設置されていたオランダ商館は長崎の出島に移され，オランダと中国のみが貿易を許されことになり，が完成した（ア，1641年）。⑵　①豊臣秀吉は1592年，1597年の二度にわたって朝鮮をしている。②　朝鮮と日本の国交を仲立ちした対馬藩は，鎖国期間中も朝鮮と貿易を許された。 |